

事業評価シート（平成23年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	歩道設置事業		
事業担当	土木部 道路整備課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	②〈住みごち〉人にやさしい居住空間をつくる	
	'02	2 身近な生活環境を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託: <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】【協働: _____】		
目的・目標		事業の概要	
歩道を整備することにより、歩行者に対する安全の確保及び車両通行の円滑化が図られています。		歩行者に対する安全の確保や車両通行の円滑化のため、主要幹線道路に歩道を新設します。また、段差のない歩道にします。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	歩道整備進捗率				単位	%
	説明・算定式	平成28年度までの整備累計(1,625m)に対する当該年度までの整備累計の率(平成22年度から)					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標		21	38	46		
	実績		21	26			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	③:遅れている						
	遅れている理由	用地買収にて、一部地権者との交渉が難航しているため					
平成23年度の主な取組と成果							
浅間町・南原線や寺田縄・飯島線の歩道設置工事を行うことにより、歩行者に対する安全の確保及び車両通行の円滑化を図りました。							
平成23年度の検証結果	C:十分に成果をあげることができなかった						

	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	歩道を整備することで安全性が保たれ、快適な生活環境が図れることから、必要性は高いと考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	歩行者に対する安全の確保や、車両の通行の円滑化が図れ、有効性は高いと考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	安全で快適な生活環境の確保には歩車道分離が有効であり、妥当性は高いと考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	交通量の多い幹線道路に歩道を設置することにより交通の円滑化と安全性が確保され、交通体系の効率化が高まります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		歩道設置工事箇所を設定し、計画的に用地買収を進める必要があります。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		用地買収、歩道整備	歩道整備、用地買収・補償	歩道整備、用地買収・補償、測量	歩道整備、補償
財源内訳	国庫支出金	84,139	69,630	11,550	2,200
	県支出金	0	0	0	0
	起債	51,000	98,000	27,000	13,000
	その他 特財	40,733	92,260	0	0
	一般財源	94,066	32,132	10,442	3,300
事業費 (A)		269,938	292,022	48,992	18,500
執行率 (%)		88.19	99.11	97.98	
内訳	職員 (人)	1.10	1.10	1.55	1.25
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.05
人件費 (B)		9,192	9,085	12,562	10,189
フルコスト (A+B)		279,130	301,107	61,554	28,689

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針	引き続き浅間町南原線の用地買収を進め、歩道整備を行います。また、城所線の整備を進めます。
課長コメント	歩道整備は、歩行者の安全確保や交通の円滑化のため、必要不可欠な事業ですが、用地買収や工事に相当な費用がかかるため、今後も国庫補助事業として計画的に進めていきます。